

県内大学連携伝統文化の魅力発信・啓発事業

群馬県立女子大学群馬学センター連携事業 県民公開講座

# ぐんまの郷土芸能 人形浄瑠璃

令和5年

12月2日 Saturday,  
2 December 13:00~  
(開場 12:30~)

出演：下牧人形芝居保存会吉田座

- ◆ワークショップ（人形の仕組み・操作体験）
- ◆傾城阿波の鳴門 順礼歌の段



会場

群馬県立女子大学  
講堂

参加費

無料

予約受付

10月31日(火)～  
(電話受付)

申込み・  
問い合わせ

公益財団法人群馬県教育文化事業団

☎ 027-243-7200

[受付時間] 8:30～17:00(日曜・月曜・祝日を除く)

〒371-0801 前橋市文京町 2-20-22

<https://www.gunmabunkazigyodan.or.jp/>



第47回県民芸術祭参加事業  
県内大学連携伝統文化の魅力発信・啓発事業

共愛学園前橋国際大学 公開授業

「人間を考える」  
～ぐんまの郷土芸能人形浄瑠璃～

- 日時/12月7日(木) 10:30～
- 会場/共愛学園前橋国際大学 5号館  
5101 KYOAI COMMUNITY HALL
- 出演/八城人形浄瑠璃「城若座」
- 参加費/入場無料(要予約 20名程度)
- 問い合わせ/(公財)群馬県教育文化事業団  
☎027-243-7200

# 下牧人形芝居保存会吉田座 (県指定重要無形民俗文化財)



## 下牧人形芝居保存会吉田座

下牧人形は、三人遣い（ひとつの人形を三人で動かす）で、義太夫節（語りの音楽・浄瑠璃ともいう）と三味線に合わせて演じられる文楽（世界遺産の伝統人形芝居）形式の人形劇です。この人形は、元禄年間（三百年ほど前）、下牧の三人の老人が、伊勢詣り（三重県の伊勢神宮）の帰りに、人形のかしらを五個買って来たことから始まりました。

明治八年ころには、上方（関西地方）の吉田勘十という人形遣いが下牧に来て、若い人たちに人形の操り方を教えました。雨の日は一日中練習していたので「雨降り人形」ともよばれるようになりました。

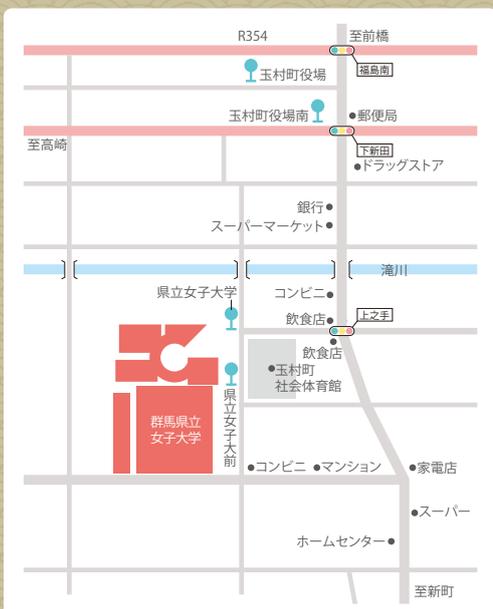
その後、明治十五年から昭和八年までに二十数年間中断しましたが、昭和十二年から毎年一回の定期的な上演が決まりました。しかし、戦争のためにもまた中止となり、戦後の昭和二十二年に復活、

現在まで続いています。この間、明治四十一年には、この人形などを保管していた家が火災にあい、記録類はなくなってしまいましたが、かしらや衣裳道具などは、たまたま他の場所にあり無事でした。

この一座は、吉田勘十さんにちなんで「吉田座」といいます。現在、かしらは三十数体あり、その種類は、江戸系（東京都）と阿波系（徳島県）があります。演目には「御所桜堀川夜討・弁慶上使の段」「奥州安達ヶ原三段目・袖萩祭文の段」「絵本太功記十段目・尼ヶ崎の段」などがあります。

昭和二十八年「古馬牧人形」（古馬牧人形保存会）として県の重要文化財に指定されましたが、古馬牧村と桃野村が合併して月夜野町になり、昭和五十八年「古馬牧の人形浄瑠璃」（下牧人形芝居保存会）として、県指定重要無形民俗文化財に変更されました。平成十三年には、文部科学大臣より「地域文化功労賞」を受賞しました。

## ACCESS MAP



※駐車場は台数に限りがございます。予めご了承ください。

## 会場

群馬県立女子大学  
佐波郡玉村町上之手1395-1

守りたい・伝えたい・育てたい  
群馬の伝統文化

『ぐんま地域文化マップ』運営中  
県内の様々な民俗芸能・民俗行事を検索いただけます

▶文化マップ



▶文化マップ「X」  
(旧ツイッター)

